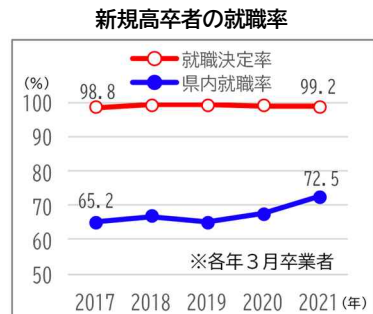


戦略6 教育・人づくり戦略

現状・課題

[新規高卒者の県内就職率の上昇]

新規高卒者の県内就職率は上昇傾向にあり、2021年3月卒業者では16年ぶりに7割を超えましたが、今後もこの割合を維持・向上させていくことが求められています。



出典：県教育庁「秋田県高等学校卒業者の進路状況調査」

[高い水準で推移する高卒者の早期離職率]

県内企業における高校卒業者の3年後離職率は、2018年3月卒業者で31.8%となっており、全国平均を下回っているものの、依然として高い水準で推移しています。

[指導スキルの専門化・高度化]

科学技術の進展や産業構造の変化等に伴い、地元企業が生徒に求める専門的な知識・技術が変化しており、教員に必要とされる指導スキルも専門化・高度化しています。

[全国トップレベルの学力]

小中学生の全国学力・学習状況調査における各教科の平均正答率は、全国平均を上回り、全国トップレベルにありますが、表現力等を測る問題については課題が見られます。

2021年度全国学力・学習状況調査の平均正答率

教科	小学校6年生	中学校3年生
国語	71%(+6.3)	68%(+3.4)
算数・数学	72%(+1.8)	60%(+2.8)

※ () 内の数値は全国平均との差

出典：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

[教員の知識・技術等の継承]

ベテラン教員の大量退職と、それに伴う新規採用教員の増加が見込まれる中、経験豊富な教員の知識・技術等が十分に継承されないことが懸念されます。

[ICT活用指導力の学校間格差]

GIGAスクール構想により、児童生徒1人1台端末や高速大容量のネットワーク等の環境は整いましたが、その活用については、学校や教員によって差が見られます。

[英語教育の拡充強化・高度化]

学習指導要領の改訂により、小学校における英語教育の拡充強化、中・高校における英語教育の高度化が図られたことに伴い、校種間の英語担当教員の更なる連携と指導力・英語力の向上が求められています。

[本県との交流の架け橋となる人材の不足]

在外県人会において世代交代が進み、後継者不足が進んでいることから、本県とのつながりが弱まることが懸念されています。

戦略6の
ねらい

本県教育の基本である「ふるさと教育」を一層推進しながら、心豊かで郷土愛に満ち、高い志と公共の精神を持って未来を力強く切り拓く人づくりに取り組みます。

戦略6が目指す“4年後の姿”

目指す姿1 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成 (P124)

ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志を持ちながら、最先端のデジタル技術や高度な専門的知識を活用し、社会における様々な課題の解決や新たな価値の創造を実現できる多数の人材の輩出を目指します。

“四つの元気”



<施策の方向性>

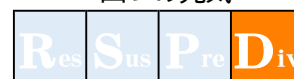
- ① 地域に根ざしたキャリア教育の推進 (P124)
- ② 社会の変化とニーズに応じた専門教育の推進 (P124)



目指す姿2 確かな学力の育成 (P126)

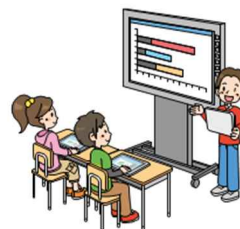
社会生活の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能の習得による全国トップレベルの学力の定着と共に、課題の解決に必要な思考力・判断力・表現力の育成を目指します。

“四つの元気”



<施策の方向性>

- ① 新たな時代に対応した「秋田の探究型授業」の推進 (P126)
- ② 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進 (P126)
- ③ 学びに向かう力を育む就学前教育・保育の推進 (P127)
- ④ 魅力的で良質な教育環境づくり (P127)
- ⑤ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進 (P127)



目指す姿3 グローバル社会で活躍できる人材の育成 (P129)

グローバル社会において、国際感覚や世界的視野を持ちながら、協働して課題を解決する力や英語による発信力を身に付けた多数の人材の輩出を目指します。

“四つの元気”



<施策の方向性>

- ① グローバル化に対応した英語教育の推進 (P129)
- ② 多様な国際教育の推進 (P129)
- ③ 県民の国際理解の促進と多文化共生の推進 (P130)



現状・課題（続き）

〔 不登校児童生徒数の増加 〕

県内小・中学校における千人当たりの不登校児童生徒数は、全国平均より少ないものの、近年は増加傾向にあります。

小・中学校の不登校児童生徒数（千人当たり）



出典：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

〔 特別な支援を必要とする児童生徒の増加 〕

近年、特別支援学校や小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒が増加しており、また、小・中・高校等の通常の学級においても、通級による指導を受けている児童生徒が増加しています。

〔 運動習慣の二極化傾向 〕

本県の児童生徒の体力・運動能力は、全国平均に比べて高く、良好な状況にあります。校種が進むにつれ、運動する子どもとそうでない子どもの運動習慣の二極化傾向が見られます。



〔 高等教育機関に対する期待の高まり 〕

少子高齢化の進行や若者の県外流出による人口減少が進む中、地域社会や産業が抱える課題の解決に向けた高等教育機関の取組に対する期待が高まっています。

〔 社会の急激な変化に対応できる人材の需要の高まり 〕

あらゆる分野で急速に進展するデジタル化や世界的規模の産業構造の変化等に対応できる人材が求められており、高等教育機関における人材育成が期待されています。

〔 障害者の生涯学習に関する情報提供体制 〕

障害者の生涯学習の取組は、県内でまだ十分に認知が広がっておらず、学びたいと思っている障害者やその保護者に対し、学びの機会についての情報が適切に提供される体制が整っていません。

〔 子どもの読書に対する関心度合いの低下 〕

子どもの読書活動について、小中学生の不読率は改善傾向にありますが、高校生の不読率は依然として高い状況にあります。



〔 文化芸術を体験する機会の不足 〕

県民が優れた文化芸術に触れる機会や文化芸術活動に参加する機会が、必ずしも十分ではありません。

戦略6が目指す“4年後の姿”（続き）

目指す姿4 豊かな心と健やかな体の育成（P131）

公共の精神や他者を思いやる気持ち、感謝する心など豊かな心と生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康や体力の育成を目指します。

“四つの元気”



<施策の方向性>

- ① 規範意識と自他を尊重する心を育む教育の推進（P131）
- ② インクルーシブ教育システムの推進（P131）
- ③ 学校における体育活動の充実と健康教育の推進（P132）



目指す姿5 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化（P133）

高等教育機関が、地域ニーズを踏まえた教育・研究や社会貢献活動を通じて、地域社会の課題の解決や持続的な発展に貢献するとともに、輩出した多数の優秀な人材があらゆる分野で活躍することを目指します。

“四つの元気”



<施策の方向性>

- ① 多様な資源を活用した教育・研究・社会貢献活動の促進（P133）
- ② 次代を担う学生の確保と人材育成への支援（P133）



目指す姿6 生涯にわたり学び続けられる環境の構築（P135）

県民が、ふるさと秋田の魅力を発見し、豊かな感性を育むとともに、ライフステージや生活スタイルに応じて生涯にわたり学び続けられる社会の構築を目指します。

“四つの元気”



<施策の方向性>

- ① 多様な学びの場づくり（P135）
- ② 良質な文化芸術に親しむ機会の充実と文化遺産の保存・活用（P135）



目指す姿1 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成



地元特産品の販売体験活動



農業体験活動



医療現場における職場体験活動



“四つの元気”

施策の方向性① 地域に根ざしたキャリア教育の推進



家庭・地域・企業等と連携し、小・中・高校の教育活動全体を通じて郷土愛や進路意識を高めながら、社会的・職業的自立に必要な資質・能力を育成します。

【主な取組】

- (1) ふるさとを学びのフィールドとした学習や体験的な活動等の推進
- (2) 地域課題の発見や解決に向けた探究活動の実施
- (3) 職場見学、職場体験・インターンシップ、ボランティア活動の実施
- (4) 地域資源とICTの活用によるキャリアデザインへの支援
- (5) 就職支援員等による就職・職場定着への支援
- (6) 高卒者の職場定着に向けた関係機関とのネットワークによる支援
- (7) 産業界や関係機関等との連携による障害等のある生徒に対する職業教育の実施と就労支援

◀ 選択・集中プロジェクト ▶



“四つの元気”

施策の方向性② 社会の変化とニーズに応じた専門教育の推進



地元企業等との連携により、デジタル社会に対応した最新の専門知識や、本県産業界が求める実践的・専門的な技術・技能を育成します。

【主な取組】

- (1) 最新の専門知識や技術・資格等を有する社会人による授業の実施
- (2) 高校における最新のデジタル教材や県内外の専門人材を活用したデジタル教育の実施
- (3) 専門高校等における施設・設備等の整備
- (4) 企業の専門人材の活用による教員の技術研修の実施
- (5) 高校間連携や学科間連携による商品開発の実施
- (6) 地域や地元企業と連携した起業体験活動の実施

◀ 選択・集中プロジェクト ▶



成果指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 高校生の県内就職率 (公私立、全日制・定時制)	%	67.7	72.5	75.5	77.0	78.5	80.0	県教育庁「秋田県 高等学校卒業者の 進路状況調査」
② 将来の夢や目標を 持っている児童生徒 の割合(小6、中3)	%	86.2	—	85.0	86.0	87.0	88.0	文部科学省「全国 学力・学習状況調 査」
③ 高校生のインターン シップ参加率(公立)	%	64.6	—	64.5	65.0	65.5	66.0	県教育庁調べ

目指す姿2 確かな学力の育成



1人1台端末を活用した学習



ICTを活用した探究型授業



横手高校新校舎完成予想図

施策の方向性① 新たな時代に対応した「秋田の探究型授業」の推進



児童生徒一人ひとりに目が行き届く質の高い教育を推進し、ICTを効果的に活用しながら、児童生徒が主体的に問題を発見し、解決していく力を育成します。

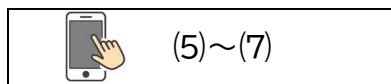
【主な取組】

- (1) 少人数学習の推進によるきめ細かな指導の実施
- (2) 学習状況調査等の結果を活用した検証改善サイクルの確立
- (3) 探究型授業の充実に向けた研修や学校訪問指導等による授業改善への支援
- (4) SSH※¹、SGH※²等の研究成果の共有による探究的な学習活動の推進
- (5) ICTの活用による質の高い学びの推進
- (6) 発達の段階に応じた情報モラル教育の実施
- (7) 小・中・高校を通じた系統的なプログラミング教育の実施

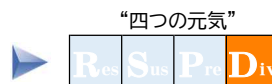
※1 SSH: Super Science High School (スーパーサイエンスハイスクール) の略語。将来の国際的な科学技術人材の育成に向けて、理数系教育に重点を置いた研究開発を行うものとして、文部科学省が指定した高等学校。

※2 SGH: Super Global High School (スーパーグローバルハイスクール) の略語。国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成に向けて、コミュニケーション能力等の国際的素養を身に付けるための教育を重点的に行うものとして、文部科学省が指定した高等学校。

《 選択・集中プロジェクト 》



施策の方向性② 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進



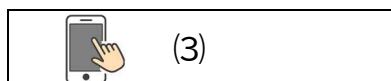
障害のある子どもの自立や社会参加に向け、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その能力や可能性を最大限に伸ばすため、適切な指導体制づくりを進めます。

【主な取組】

- (1) 管理職のリーダーシップによる校内支援体制の構築
- (2) 専門性の高い教職員の育成に向けた研修等の実施
- (3) ICTの活用による障害の状態や特性等に応じた学びの推進
- (4) 特別支援学校のセンター的機能を生かした教育相談・支援の実施

- (5) 校（園）種間連携による幼児児童生徒の就学、進学等における情報の円滑な引継ぎの推進

≪ 選択・集中プロジェクト ≫



施策の方向性③ 学びに向かう力を育む就学前教育・保育の推進

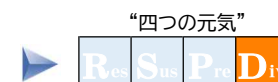


幼児期の自発的な活動としての遊びを通して子どもの健やかな成長が図られるよう、幼児教育センターとしての機能を生かし、市町村と連携し、就学前教育・保育施設を支援します。

【主な取組】

- (1) 教育・保育アドバイザーの配置の促進と訪問指導等による就学前教育・保育への支援
- (2) 地域における学び合い活動のネットワークの充実に向けた支援
- (3) 保育者の資質向上に向けた体系的な研修機会の提供
- (4) 教育・保育の質的向上につながる中核リーダーの育成や園内研修の充実への支援
- (5) 就学前教育・保育と小学校教育の円滑な接続を図る取組への支援

施策の方向性④ 魅力的で良質な教育環境づくり

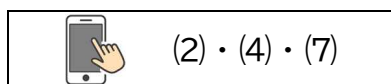


教職員の資質能力の総合的な向上を図るほか、質の高い学習の基盤となる安全・安心な学校施設や多様なニーズに対応した教育環境の整備を進めます。

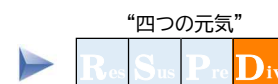
【主な取組】

- (1) 教職員のキャリアステージや校種・教科特有の課題に対応した研修の実施
- (2) 教員のICT活用指導力の向上を図る研修の実施
- (3) 中長期的な視点に立った計画的な学校施設の整備
- (4) 時代の変化に対応したICT環境の整備
- (5) 私立学校の運営や高校生、大学進学者等に対する経済的支援
- (6) 不登校を経験した児童生徒等に対する就学機会の提供
- (7) 校務のICT化による教育の質の向上

≪ 選択・集中プロジェクト ≫



施策の方向性⑤ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進



学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で子どもを育む環境づくりを進めます。

【主な取組】

- (1) 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進体制の構築
- (2) 地域学校協働活動を支える人材の育成と活用
- (3) 家庭教育支援チームによる相談対応の実施と学習機会の提供
- (4) 家庭教育支援を担う人材の育成と活用
- (5) 学校、家庭、地域、関係機関等と連携・協働した学校安全教育の推進

成果指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 学んだことを振り返って次の学習につなげることができる児童生徒の割合（小6、中3）	%	—	—	87.0	88.0	89.0	90.0	文部科学省「全国学力・学習状況調査」
② 大学志望達成率（公私立、全日制・定時制）	%	84.1	88.3	87.0	88.0	89.0	90.0	県教育庁「秋田県高等学校卒業者の進路状況調査」
③ 特別支援教育に関する研修を受講した高校教員の割合	%	66.3	72.5	75.0	78.0	81.0	84.0	県教育庁調べ
④ 就学前教育・保育アドバイザーを配置している市町村数	市町村	5	6	7	8	9	10	県教育庁調べ
⑤ 授業にICTを活用して指導することができる教員の割合（全校種）	%	63.6	63.2	62.0	66.0	70.0	74.0	県教育庁調べ
⑥ 学校運営協議会に地域コーディネーター等が参画している小・中学校の割合（公立）	%	43.0	51.8	64.0	68.0	72.0	76.0	県教育庁調べ

経過検証指標

・地域と連携して防災訓練等を実施した学校の割合（公立、幼・小・中・高・特別支援）

出典：県教育庁「秋田県学校安全の推進に関する計画に係る取組状況調査」 など

目指す姿3 グローバル社会で活躍できる人材の育成



イングリッシュキャンプ



国際理解活動



A L Tによるチーム・ティーチング



“四つの元気”

施策の方向性① グローバル化に対応した英語教育の推進

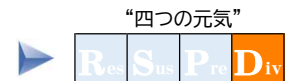


小・中・高校を通じて、英語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度や、情報を正確に理解する力、自らの考えを適切に伝える力を育成します。

【主な取組】

- (1) 英語コミュニケーション能力の育成に向けた小・中・高校一貫した授業改善の促進
- (2) A L T等の人材を活用した効果的なチーム・ティーチングによる指導の実施
- (3) 英語コミュニケーション能力の育成に向けたイングリッシュキャンプ等の実施
- (4) 教員の指導力・英語力の向上に向けた実践的な研修の実施

施策の方向性② 多様な国際教育の推進

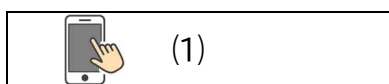


国際的な視野を広げ、自国文化と異文化に対する理解を深めながら、それぞれの価値観を尊重する態度を育成するとともに、グローバル社会で必要とされる論理的思考力や課題解決能力を育成します。

【主な取組】

- (1) オンラインによる英語ディベート等の推進
- (2) 児童生徒と海外の学校や県内大学の留学生等の交流の促進
- (3) 高校における課題研究・国際交流活動等の促進とその成果の共有
- (4) 高校生の海外留学への支援

◀ 選択・集中プロジェクト ▶



施策の方向性③ 県民の国際理解の促進と多文化共生の推進

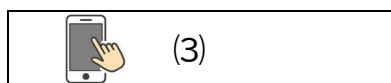


海外との多様な交流や国際的視野を持つ人材の育成・活用により、県民の国際理解を促進するとともに、多文化共生を推進します。

【主な取組】

- (1) 海外との青少年交流、学術交流等の促進
- (2) 県内大学と海外大学の交流の促進
- (3) オンラインを活用した海外交流の架け橋となる人材の育成への支援
- (4) 国際交流団体等による国際理解活動や国際協力活動への支援
- (5) 留学生の受入れの促進と在住外国人が暮らしやすい環境づくり
- (6) 海外在留経験者等を活用した県民の異文化理解の促進

≪ 選択・集中プロジェクト ≫



成果指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 英検3級相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合	%	39.1	—	54.0	56.0	58.0	60.0	文部科学省「英語教育実施状況調査」
② 英語ディベート交流会等への参加生徒数	人	75	61	105	110	115	120	県教育庁調べ
③ 国際理解講座への参加者数	人	569	592	500	525	550	575	県調べ

経過検証指標

・ 外国語情報提供件数

出典：県調べ

など

目指す姿4 豊かな心と健やかな体の育成



特別支援学校と小学校の居住地校交流



地域人材を活用した体育授業



体験活動（カヤック）



“四つの元気”

施策の方向性① 規範意識と自他を尊重する心を育む教育の推進



家庭・地域と連携し、道德教育・人権教育や体験活動を充実させることにより、社会の一員としての規範意識や他者への思いやりの心を持って行動できる豊かな人間形成を図ります。

【主な取組】

- (1) 思いやりや心のつながりを大切にする道德教育の推進
- (2) 自他の人権を守ろうとする意識・意欲・態度を育成する人権教育の推進
- (3) 男女共同参画に関する学習の実施
- (4) 性同一性障害や性的指向・性自認に係る幼児児童生徒への支援
- (5) 児童生徒が主体的に取り組むいじめ防止等の促進
- (6) 不登校の未然防止等に向けた教育相談体制の確保
- (7) インターネットの健全利用の促進
- (8) 少年自然の家における問題解決型プログラムを導入した体験活動の実施

施策の方向性② インクルーシブ教育システムの推進



障害のある子どもが積極的に社会に参加できるよう、地域と連携した支援体制を構築するとともに、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶ機会を提供することにより、社会性を養い、豊かな人間性を育みます。

【主な取組】

- (1) 障害や特別支援教育に関する啓発
- (2) 通常の学級と特別支援学級・特別支援学校の交流や共同学習の実施
- (3) 関係機関との連携による就学前から卒業時までの一貫した支援
- (4) 卒業後の進路先の定着や余暇活動の充実に向けた支援
- (5) 特別支援学校における地域資源を活用した特色ある教育活動の展開

施策の方向性③ 学校における体育活動の充実と健康教育の推進



学校体育・運動部活動や健康教育を通じて、児童生徒が生涯にわたり健康に生活するために必要となる心身の育成と生活習慣の定着を図ります。

【主な取組】

- (1) 望ましい運動習慣の確立と体力の向上を図るための体育的活動の推進
- (2) 教員の指導力の向上に向けた研修会等の実施
- (3) 地域人材の活用による授業の充実と運動部活動への支援
- (4) 運動部活動の普及と競技力の向上への支援
- (5) 休日の運動部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究とその成果の共有
- (6) 医療関係者等との連携による現代的健康課題の解決に向けた講座等の実施
- (7) 望ましい食習慣の形成に向けた学校・家庭等が一体となった食育の推進

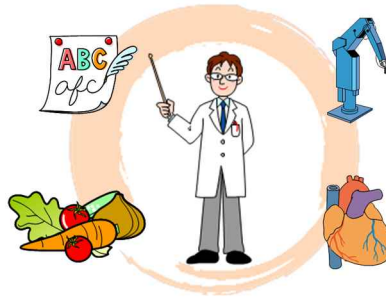
成果指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合（小6、中3）	%	86.0	—	86.0	87.0	88.0	89.0	文部科学省「全国学力・学習状況調査」
② 低年齢化に対応したインターネット環境整備に関する講座を実施した市町村数（累積）	市町村	4	7	13	17	21	25	県教育庁調べ
③ 特別支援学校小中学部との居住地校交流を実施した小・中学校の割合	%	38.9	38.7	42.0	44.0	46.0	48.0	県教育庁調べ
④ 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合（小5、中2）	%	65.9	—	65.5	66.0	66.5	67.0	スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

目指す姿5 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化



国際教養大学の授業風景



秋田県立大学の日本酒醸造プロジェクト

施策の方向性① 多様な資源を活用した教育・研究・社会貢献活動の促進

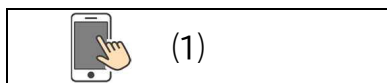


地域社会や県内産業が抱える課題を解決するため、多様な資源を活用し、県内企業や市町村と連携しながら行う県内高等教育機関の教育・研究・社会貢献活動を支援します。

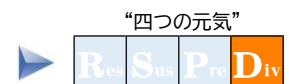
【主な取組】

- (1) デジタル技術等の進展やグローバル化に対応するための教育活動に取り組む公立大学法人への支援
- (2) 産学官連携による研究や社会貢献活動に取り組む公立大学法人への支援
- (3) 実践的な職業教育や専門的な技術教育に取り組む専修学校等への支援
- (4) 地域の医療・保健・福祉を担う人材の育成に取り組む看護系大学・短期大学への支援
- (5) 高等教育機関等が行う公開講座や社会人のリカレント教育等の社会貢献活動への支援

《 選択・集中プロジェクト 》



施策の方向性② 次代を担う学生の確保と人材育成への支援



県内高等教育機関が、県内外の高校生から進学先として選ばれるよう、教育・研究の質の向上や魅力発信に向けて行う取組や産業界の期待に応える人材の育成を支援します。

【主な取組】

- (1) 県内出身学生の確保に向けた多様な入試制度や広報活動等を実施する公立大学法人への支援
- (2) 大学の教育資源を活用した高校生のキャリア教育への支援
- (3) 県内産業の即戦力となる人材の育成に取り組む私立大学・短期大学・専修学校への支援
- (4) 高等教育機関の学生に対する授業料等の経済的負担の軽減に向けた支援

成果指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 県内高等教育機関による 県内企業等との共同研 究・受託研究・受託事業数	件	141	144	146	148	150	152	県調べ
② 県内高卒者の県内大 学・短大・専修学校 等への進学率	%	31.4	33.7	33.7	33.9	34.1	34.3	県教育庁「秋田県 高等学校卒業者の 進路状況調査」
③ 県内大学生等の県内 就職率	%	42.6	46.7	47.0	49.0	51.0	53.0	秋田労働局「新規 大学等卒業者の就 職内定状況」

目指す姿6 生涯にわたり学び続けられる環境の構築



読み聞かせボランティア養成講座



中高生を対象とした読書イベント



伊勢堂岱遺跡



大湯環状列石



施策の方向性① 多様な学びの場づくり



県民の生涯学習に取り組む機会の確保や読書活動の充実を図るとともに、学びによって得られた成果が地域に還元される仕組みづくりを進めます。

【主な取組】

- (1) 企業や団体等との連携による県民の学習機会の確保
- (2) 学びの成果を地域づくり等へ生かすためのネットワークづくり
- (3) 障害の有無等にかかわらず生涯にわたって学習できる体制構築に向けた支援
- (4) 市町村等における持続可能な学習環境の整備への支援
- (5) 生活に身近な場所で読書に親しめる環境の構築
- (6) 中高生を対象とした読書イベント等による読書の魅力の発信
- (7) 児童生徒の読書活動等の充実に向けた学校図書館の機能強化への支援
- (8) 県民の読書ニーズに対応できる県立図書館のサービス機能の強化

施策の方向性② 良質な文化芸術に親しむ機会の充実と文化遺産の保存・活用

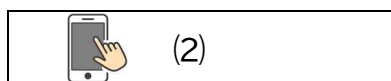


本県の優れた文化芸術を発信するとともに、鑑賞・創作体験機会を提供するほか、地域への誇りや愛着の醸成につながる貴重な財産である文化遺産等の保存・活用を進めます。

【主な取組】

- (1) 美術館、博物館等の展覧会やセカンドスクールの利用等を通じた体験機会の提供
- (2) 美術館、博物館等におけるデジタルコンテンツの活用
- (3) 地域の魅力の発信やにぎわいの創出の拠点としての美術館、博物館等の活用
- (4) 有形文化財や民俗文化財、記念物など文化遺産等の保存・活用
- (5) ユネスコ無形文化遺産や世界文化遺産の価値・魅力の向上に向けた情報発信

《 選択・集中プロジェクト 》



成果指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 県立美術館・近代美術館・県立博物館・農業科学館の利用者数	人	353,589	169,596	280,000	370,000	375,000	380,000	県教育庁調べ
② 障害者を対象とした講座や障害者の参加に配慮した講座を実施した市町村数（累積）	市町村	15	15	17	19	21	23	県教育庁調べ
③ 県立・市町村立図書館等の個人貸出冊数	千冊	2,733	2,567	2,780	2,820	2,860	2,900	県教育庁調べ
④ 国・県指定等文化財の件数	件	770	785	785	788	791	794	県教育庁調べ